



2025 Super FJ Race report



Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ Rd.1

SUZUKA CHAMPION CUP RACE

2025年2月22-23日 天候:晴れドライ 参加20台



スーパーFJ 地方選手権鈴鹿・岡山シリーズが2月22日、他シリーズの先陣を切って鈴鹿サーキットで開幕し20台が参加した。鈴鹿は今シーズンから「鈴鹿クラブマンレース」の名称を「SUZUKA CHAMPION CUP RACE」に変更。このシリーズの第1戦としてスーパーFJも組み込まれた。

■公式予選 (2月22日)

22日は、午前中に練習走行が行われ、公式予選は、前プログラムで赤旗が出たため定刻より5分遅れの午後3時45分にスタートした。通常予選は20分間だが、路面張替を行ったことと低気温を考慮して5分延長され25分間となった。参加は20台で、うち3台がジェントルマンクラス。初出場は、五十嵐文太郎選手(Drago CORSE)と土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)の2人だ。正午過ぎまで降り続いていた雪もやみ、雲がはけるとほぼ快晴となった。WET 宣言が出されているが、全車ドライタイヤを履いてコースインした。

序盤、予選をリードしたのは吉田馨選手(TAKE FIRST kks2)。計測1周目に2分17秒719を出すと、同2周目には15秒018までタイムを縮める。

しかし、計測4周目には箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)が2分14秒をマークしてトップに立つ。吉田選手も14秒566までタイムを縮めるも2位に落ちた。3位には酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)が14秒814でつける。

計測 6 周目にはトップ箕浦選手が 2 分 14 秒 028 と若干タイムアップ。同 7 周目には酒井選手が 14 秒 282 で 2 位に浮上した。吉田選手は 14 秒 366 までタイムを削るも 3 位に後退。

計測 8 周目、トップ箕浦選手が 2 分 13 秒 577 とタイムを大幅に短縮。2 位には 13 秒 941 で吉田選手が再浮上。酒井選手はタイムアップならず、14 秒 282 のままで 3 位に落ちた。

予選も終盤の計測 10 周目、箕浦選手が 2 分 13 秒 155 とさらにタイムを縮め、2 位以下を突き放す。2 位の吉田選手、3 位の酒井選手ともタイム更新はならず、このまま 25 分間の予選は終了した。

計測 6 周目に 2 分 14 秒 920 で 4 位に浮上した鈴木七瀬選手(ネットヨタ三重 with FORM)は、その後徐々にタイムを縮め同 9 周目に 14 秒 308 とするも順位は変わらず、自己最高位の 4 位で予選を終えた。

計測 8 周目には 10 位まで順位を落としていた杉田悠真選手(LAPS with REV RACING)は、最終となった同 10 周目に 2 分 14 秒 733 までタイムを縮め 5 位に浮上した。

ルーキーの五十嵐選手は、常にトップ 6 内の順位につける健闘で、最終的にタイムを 2 分 14 秒 875 まで縮め 6 位に滑り込んだ。

ジェントルマンクラスは、山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)が一時は総合 6 位につけ大健闘。最終的には総合 9 位で予選を終えたが、文句なしで同クラスのポールポジションを獲得した。

ポールポジションの箕浦選手と予選 2 位の吉田選手は、ともに昨年末の日本一決定戦がスーパーFJ のデビュー戦で、いきなり 1-2 につけ大躍進を果たした。

箕浦は岐阜市在住の 16 歳で、鈴鹿のカート X30 でチャンピオンを獲得。ミストのエースカー 56 号車のパフォーマンスを引き出し、ぶっちぎりでポールとなった。

決勝は明日 23 日、午後 2 時 30 分からだが、天候状態を考慮しフォーメーションラップが 2 周となったため、当初予定の 10 周から 1 周減算され 9 周で行われる。

■公式予選ドライバーコメント

ポールポジション 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-S II)



「位置取りは悪かったんですが、調整してトップを取れたのでよかったです。想定していたタイムが出たので、多分ポールはいけると思いました。ぶっちぎれたのは、周りよりギリギリでマシンを使いこなしているからだと思います。決勝はスタートが苦手なので、そこを決めて優勝したいと思います」

2 位 吉田 馨選手(TAKEFIRST kks2)



「うまくまとめた周にシケインでロックしてしまいました。それがなければ箕浦選手には近づけたと思います。決勝は、古いタイヤでもいいタイムが出てるので、そこは自信を持って行こうと思います。スタートは微妙ですが、前に出られればなんとかなるので、頑張りたいと思います」

3位 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S II)



「新品タイヤを履いたらよくなって、朝の練習で走り続け80km くらい使ったタイヤで予選に臨みました。前半はタイムがポンポン上がったんですが、後半はリアタイヤが無くなってきて、一発を出そうとしてもタイムがぜんぜん上がりませんでした。新品タイヤをうまく使えないというのが課題だったので、それをどうにかできれば新品の方がよかったかもしれせん。

1秒以上タイム差があるので、決勝は前に食いついていければと思います」

■決勝レース (2月23日)



翌23日、決勝は午後2時30分に2周のフォーメーションラップが始まった。昼頃、鈴鹿の上空を覆っていた雲も去り、天候は快晴だが肌寒い。20台がグリッドに着き、9周となった決勝のスタートが切られた。

ポールポジションの箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-S II)はスタートをミス。予選2位の吉田馨選手(TAKE FIRST kks2)が先頭で1コーナーへ向かう。箕浦選手は、予選4位から3位に上がった杉田悠真選手(LAPS with REV RACING)にも迫られるが、ここは1コーナーでインを絞め2位は死守。杉田選手が3位で、後ろには予選3位の酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S II)が続く。

その後方では、イン側から予選8位の元山泰成選手(株式会社エコテック)、予選4位の鈴木七瀬選手(ネットヨタ三重 with FORM)、予選7位の永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)、予選6位の五十嵐文太郎選手(Drago CORSE)が4ワイドとなる。このバトルで、中央の2人、鈴木選手と永原選手が接触。2台はもつれるようにコースアウトしてグラベルでストップした。ともに自己最高位のポジションからスタートした鈴木選手と永原選手のレースは、数百メートルで幕を閉じることとなった。ここで早くもセーフティーカーが導入された。



SC 中、1 周目の順位は、トップ吉田選手、2 位箕浦選手、3 位杉田選手、4 位酒井選手、5 位ルーキーの五十嵐選手、6 位元山選手、7 位ジェントルマンの山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)、8 位大ベテランの板倉慎哉選手(AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II)、9 位藤井翔太選手(Drago CORSE)、10 位中川賢太選手(イーグルスポーツ)だ。

SC は 2 周で退き、レースは 3 周目から再開された。ここから 2 位箕浦選手のペースが速い。箕浦選手は NIPPO コーナー立ち上がりからデグナー1 個目で吉田選手に急接近すると、デグナー2 個目でインにねじ込む。立ち上がりでは、吉田選手は箕浦選手に押し出される形で、グラベルにタイヤを落とし失速。これで吉田選手は箕浦選手、杉田選手の 2 台にパスされ 3 位に落ちた。この混乱で接触があり、吉田選手はフロントウイングを曲げてしまう。



トップに立った箕浦選手には 2 位の杉田選手が迫る。杉田選手は 130R で箕浦選手の背後につけると、シケイン侵入でアウトから並びかけるも、ここは箕浦選手が杉田選手を押しさえ込む。この 2 台はテールトゥノーズでシケインを立ち上がるが、箕浦選手はシフトミスして失速。直後につけていた杉田選手にプッシュされスピンし、後方集団に飲み込まれてしまった。このアクシデントでトップに立った杉田選手だったが、続くストレートでは、箕浦選手と絡んだためストレートスピードが伸びず、吉田選手が急接近。4 周目に入った 1 コーナーで吉田選手がインから杉田選手をパスしてトップを奪い返した。3 位には酒井選手が、4 位には五十嵐選手が、5 位には元山選手を 1 コーナーで捉えた板倉選手が続く。

この周、デグナー1 個目では、3 位酒井選手のインをうかがっていた五十嵐選手が、立ち上がりでコースアウト。戻ってきたところで他車と接触、スピンしコース中央に止まった。これを避けようとした中川賢太選手(イーグルスポーツ)と宮本颯斗選手(J-LOC)が接触してコースアウト、この場でリタイヤとなった。五十嵐選手は再び動き出したが大きく順位を落とした。この混乱で 2 度目の SC が導入された。



SC 中の順位は、トップ吉田選手、2 位杉田選手、3 位酒井選手、4 位板倉選手、5 位元山選手、6 位は予選 16 位から東慎之介選手(サンセルモ MYST/ORM)、7 位は予選 14 位からルーキーの土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)、8 位 KODAI YOSHIDA 選手(T's TECHNO)、9 位藤井選手、10 位山根選手だ。

SC は 6 周終わりで退き、レースは 7 周目から残り 3 周で再開された。1 コーナーでは、土橋選手が東選手を攻略して 6 位に上がる。ウイングを曲げながらもトップを走行する吉田選手に、杉田選手が徐々

に接近し始める。

8 周目、バックストレートでは 5 位を走る元山選手が前を走る板倉選手をパスして 4 位に浮上。チームメート同士の抜きつ抜かれつのバトルは元山選手に軍配が上がった。

9 周目、トップ吉田選手と 2 位杉田選手は、1 秒を切る 0 秒 9 差でファイナルラップに突入。ここでも吉田選手は杉田選手を押さえながら各コーナーを通過。5 位を走るペースの上がらない板倉選手は 130R で土橋選手にもパスされ 6 位に落ちた。

このままレースは終了。ウイングを曲げながらも 2 位の杉田選手を押さえきった吉田選手が参戦 2 戦目で初優勝。2 位には杉田選手が入ったが、箕浦選手との接触で 30 秒加算のペナルティーを科され 14 位に後退。繰り上がって 2 位に酒井選手、3 位には元山選手が入った。

初レースの土橋選手は 4 位と大健闘。5 位板倉選手、6 位藤井選手、7 位 YOSHIDA 選手、8 位にはジェントルマンクラス優勝の山根選手が続いた。

序盤でスピンした箕浦選手は最終ラップにファステストラップをたたき出す意地を見せ、9 位でフィニッシュ。10 位には東選手が入った。

次大会は岡山国際サーキットに舞台を移し、4 月 29 日、30 日に第 2 戦、第 3 戦が開催される。



ジェントルマンクラスの表彰、左から 2 位古里拓選手、1 位山根一人選手、3 位高橋浩史選手。



3位 元山泰成選手

優勝 吉田馨選手

2位 酒井翔太選手

■決勝ドライバーコメント

優勝 吉田 馨選手(TAKEFIRST kks2)

「シケインで自分の思った走りができませんでした。他のセクションでマージンを築いていることに気がついたので、シケインは頑張らずに安全に行こうと思っていました。SC 明けの 1 周目はすごかったですね、エグかったです。雨は得意ということはありませんが、割と速い方です」

2位 酒井翔太選手(ファーストガレド KK-S II)

「金曜日の雨の練習から調子が良くて、決勝も雨だったのでいけると思いました。迫くんも速くて、向こうの方がタイヤの空気圧を合わせ込めたのかと思います。開幕戦の 2 位は悪くないので、今年は調子を崩さず行きたいですね。優勝したかったんですが、鈴鹿の表彰台は初めてです。3 年目なので今年は絶対結果を出したいと思っています」

3位 元山泰成選手(株式会社コア)

「スピンないようにびぐびぐで、がちがちでした。SC 明けの 1 周目は、ぶつからないように、それだけを意識していました。みんなクリーンでした。この結果はデビュー戦にしてはまあまあだと思います。兵庫県出身で 17 歳です。去年までカートを走っていました」



スーパーFJ 公式予選

2025/2/22 17:50

SUZUKA CIRCUIT
Full Course 4-Wheels(5,807m)

正式結果表

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap
1	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS II	DL	2'13.155		11 / 11
2	6			吉田 馨	TAKEFIRSTkks2	KKS II	DL	2'13.941	0.786	9 / 11
3	22			酒井 翔太	ファーストカレッジ KK-S II	KKS II	DL	2'14.282	1.127	8 / 11
4	18			鈴木 七瀬	ネットヨタ三重 with FORM	KKS II	DL	2'14.308	1.153	10 / 11
5	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING	KKS II	DL	2'14.733	1.578	11 / 11
6	43			五十嵐 文太郎	Drago CORSE	KKS II	DL	2'14.875	1.720	9 / 11
7	15			永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST	KKS II	DL	2'14.969	1.814	7 / 11
8	1			元山 泰成	株式会社 エコテク	KKS II	DL	2'15.070	1.915	10 / 11
9	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS II	DL	2'15.078	1.923	7 / 11
10	33			KODAI YOSHIDA	T's TECHNO	KKS II	DL	2'15.190	2.035	8 / 11
11	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KKS II	DL	2'15.291	2.136	7 / 11
12	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KKS II	DL	2'15.402	2.247	11 / 11
13	52			中川 賢太	イーグルスポーツ	KKS II	DL	2'15.461	2.306	10 / 11
14	11			土橋 皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS II	DL	2'15.564	2.409	7 / 11
15	12			宮本 颯斗	J-LOC	KKS II	DL	2'15.597	2.442	9 / 10
16	57			東慎之介	サンセルモMYST/ORM	KKS II	DL	2'16.046	2.891	8 / 11
17	4	G	2	古里 拓	FLEET REV KK-S II	KKS II	DL	2'16.995	3.840	11 / 11
18	37			阪本 一世	免許取るなら大阪ヤマ☆EAGLE	KKS II	DL	2'17.311	4.156	9 / 11
19	72			久保 直也	AQUAだーはまレーシングNUTEC	WEST07J	DL	2'19.020	5.865	11 / 11
20	5	G	3	高橋 浩史	BBK☆レヴレーシング	KKS II	DL	2'19.960	6.805	11 / 11

***** 以上予選通過 (2'53.930 - 130%) *****

G...ジェントルマンクラス

Start Time :15:45'00 Finish Time :16:10'00

Entry :20 Start :20

- No.52は、当該タイム削除(2'16.998、2'15.855)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.15は、当該タイム削除(2'16.818、3'01.951)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.43は、当該タイム削除(2'17.189、2'15.947、2'14.708)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.33は、当該タイム削除(2'17.127、2'16.511)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.10は、当該タイム削除(2'16.656、2'14.719)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.34は、当該タイム削除(2'15.398)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.1は、当該タイム削除(2'21.987)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.55は、当該タイム削除(2'17.632)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.12は、当該タイム削除(2'21.765)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.47は、当該タイム削除(2'15.651)(SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条4)(走路外走行)
- No.12は、当該タイム削除(2'14.973)(2025 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Rd.17'リーフィング資料 12.黄旗区間の運用)
- No.15は、当該タイム削除(2'14.940)(2025 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Rd.17'リーフィング資料 12.黄旗区間の運用)
- No.52は、当該タイム削除(2'15.262)(2025 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Rd.17'リーフィング資料 12.黄旗区間の運用)



スーパー FJ 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第1戦

No 31

スーパーFJ 決勝

2025/2/23/6:15



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Cloudy

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time	
1	6			吉田 馨	TAKEFIRSTkks2	KKS II	DL	9	26'44.351		2'15.269	
2	22			酒井 翔太	ファーストカレッジ KK-S II	KKS II	DL	9	26'47.499	3.148	2'15.427	
3	1			元山 泰成	株式会社 エコテック	KKS II	DL	9	26'47.906	3.555	2'15.163	
4	11			土橋 皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS II	DL	9	26'49.929	5.578	2'16.165	
5	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KKS II	DL	9	26'50.526	6.175	2'16.750	
6	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KKS II	DL	9	26'54.230	9.879	2'16.260	
7	33			KODAI YOSHIDA	T's TECHNO	KKS II	DL	9	26'54.794	10.443	2'16.855	
8	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS II	DL	9	26'55.098	10.747	2'16.965	
9	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS II	DL	9	26'56.144	11.793	2'14.502	
10	57			東慎之介	サンセルモMYST/ORM	KKS II	DL	9	26'57.418	13.067	2'18.258	
11	37			阪本 一世	免許取るなら大阪サヤマ☆EAGLE	KKS II	DL	9	27'02.493	18.142	2'18.536	
12	4	G	2	古里 拓	FLEET REV KK-S II	KKS II	DL	9	27'02.900	18.549	2'18.268	
13	72			久保 直也	AQUAだーはまレーシングNUTEC	WEST07J	DL	9	27'11.083	26.732	2'21.109	
*1	14			杉田 悠真	LAPS with REV RACING	KKS II	DL	9	27'14.828	30.477	2'14.806	
15	5	G	3	高橋 浩史	BBK☆レヴレーシング	KKS II	DL	9	27'15.467	31.116	2'21.686	
*2	16			五十嵐 文太郎	Drago CORSE	KKS II	DL	9	27'28.722	44.371	2'15.810	
***** 以上完走 (規定周回数 8Laps) *****												
	52			中川 賢太	イーグルスポーツ	KKS II	DL	3	9'16.514	6Laps	6Laps	2'18.607
	12			宮本 颯斗	J-LOC	KKS II	DL	3	9'17.327	6Laps	0.813	2'18.733
	18			鈴木 七瀬	ネットヨタ三重 with FORM	KKS II	DL	0				
	15			永原 蒼翔	ヒットワークながはら/MYST	KKS II	DL	0				

G...ジェントルマンクラス

Fastest Lap

	2'14.502 (9 / 9)	155.427 km/h	56	箕浦 稜己 / MYST SEIDOYA KK-S II
G	2'16.965 (9 / 9)	152.632 km/h	47	山根 一人 / 光精工 TK-Sport MYST

Start Time :14:37'41 Finish Time :15:04'25

Entry :20 Start :20 Finish :16

SC導入時刻 : ①14:38'09(0Lap)~14:44'35(2Laps)、②14:48'25(3Laps)~14:57'38(6Laps)

*1 No.10は、競技結果に対して30秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第59条1)① (危険な'ドライブ'行為))

*2 No.43は、競技結果に対して30秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第59条1)⑥ (危険な'ドライブ'行為))

